

市民公開講座

いびきと睡眠時無呼吸症候群

～ 検査と治療 ～

参加
無料



睡眠時無呼吸症候群（SAS＝Sleep Apnea Syndrome）とは、気道の閉塞などが原因で睡眠中に何回も呼吸が止まる病気です。大きないびき、熟睡感がない、起床時の頭痛などの症状がみられ、日中の激しい眠気が交通事故を引き起こす可能性もあります。一方で、適切な治療を行えば、症状の改善だけでなく、高血圧や脳卒中、糖尿病などの合併症も予防できます。お勤めなどで普段なかなか通院できない人、ご家族で気になる症状のある人はお誘い合わせの上、本講座にご参加ください。病気について理解を深めていただき、快適な生活とより良い睡眠のきっかけとなれば幸いです。（常滑市民病院 本講座担当医師 富田）

2016年

1月31日(日)

14時～16時
(開場 13時)

常滑市民文化会館(ホール)



日程・プログラム

※タイトルなど変更する場合がございます。ご了承ください。

① 睡眠について 常滑市民病院 副院長 鳥山 高伸

② SASについて 同上 内科部長 富田 亮

③ 検査(簡易・PSG) 同上 看護主任 鈴木 俊紀

※PSG = 終夜睡眠ポリグラフ検査

休憩

④ 口腔内装置について 同上 歯科口腔外科部長 藤 武智

⑤ CPAP治療 同上 看護師 服部 達也

※CPAP = Continuous Positive Airway Pressure (経鼻的持続陽圧呼吸療法)

休憩

⑥ 質問コーナー

*司会: 同上 健康管理センター副室長 小野 久美子

※当日はお申込み不要
・参加無料です。

共催 常滑市民病院、帝人在宅医療株式会社、大日本住友製薬株式会社
後援 知多郡医師会、常滑市医師会、常滑市歯科医師会

【お問い合わせ】 常滑市民病院 健康管理センター TEL 0569-47-6810(直通)